六月四日夕刊

常磐新報

発行兼印刷人 伊藤隆次
編輯兼発行人 伊藤隆次
発行所 常磐新報社
福島縣小名濱古町一港
毎日曜日休刊
一部二錢 一ケ月五十錢
廣告料 一行 五十錢

北川外科
平町新川町
醫學博士 北川芳夫
電話四六四番

常磐時評

視察と見物、大會と遊山。大部春先きになると氣候が良い爲めに視察が多くなる必らずそれは公費で出來る團体に極つて居る樣だ、何々視察、成程視察の名は大變立派だ、然し彼等は果して見物の領域を越いた視察をして居らうか、公金を公然使ふ手段として視察の名を冠するのではないか、その證據とも見るべきは必らず大名行列である、眞に視察の要があるとすれば比較的その方面に智識のある二三氏のみの方が効果的ではないか、大名行列で慰勞の意味なれば見物の名を冠するのが至當ではないか、視察となれば字の通り裏表を見て觀察する、見物は只眼を悅ばせればそれで目的を達する、それで記者は視察の言葉に對し見物と換へて僞瞞なき見物を恣にされん事を視察員の爲めに一言して見たい。

次に大會と遊山はどう違ふか、意味が同じであれば肩のこらない遊山と改稱してはどうか、自己の懷を傷めず團体の金なり公金を使ふ手段として變な名稱の下に僞瞞的な金使は現下の狀勢より見てどうであるか、アイマイな名稱の下に豫算金を澤山取り、盗人の樣な金使をする時ではない、見物結構、遊山結構、勞しない金でなどケチな考へを起さず自己の汗した金でやつたらどうか、金の有難味を少しは眞劍なる視察も出來ようし遊山ならざる大會に自己の抱懷せる意見も眞劍に吐露する事が出來るではないか。

視察を見物と改稱し大會を遊山と稱したなれば公金なり團体の金は使へまいから名稱の變更は貴重なる金を空費しない事にもなり自費を投ずる程の視察なり大會に臨む者なれば功果的たる事も論を俟たないではないか。

小名濱柔道會の武德殿建設計劃

來る六日役員會開催

現代青年の完全なる人格養成と心身鍛練は日本古來の武士道の精華である柔道から去る四月廿九日の天長節の佳辰を卜して結成された小名濱柔道會は其後同町小學校の道場で連日眞摯な猛練習を續けてゐるが會員の增加と共に現在の道場では不便を感ずるに至つたので、來る六日第一回役員會を開き小名濱町武德殿建設に付協議し、併せて發會式を擧げる事となつたが發起人は左の諸氏である、因に會員は眞劍なる中堅青年を以て綱羅され嚴肅な規律の下に『道場內外を問はず』行動してるので一般からも非常に好評を博してゐる。

小野義一（初段）武菊治（初段）戒田榮太郎、小野潮流の關係にて遲延する事は昨今焦燥の色が濃く各同業者間、問合等頻繁だが茨城、本縣共に不良にて勿論例年なれば遲くも五月下旬には鯛の大漁で沿岸漁場を賑ほすのが通例なのだが、本年は未だに鯛の大群の姿も見せず、各濱大敷事務所ではあらちが漁期に漁の無き各濱大敷業者、海產商共に海をながめ嘆聲を洩すのみである。

（初段）立花勇、小林明良（三段）西丸猛夫、內山鐘、齋藤昌秀（四段）安田久中野茂雄（初段）深谷三段藏、齋藤昇一、舟戸正雄、鈴木忠亮（初段）志賀要平（初段）

鯛の漁期に鯛が來ない

大敷焦燥の昨今

忠魂碑除幕式に角力大會 擧行

石城相撲協會生る

角界ファンの多いことで郡な叫びを上げて居る、會社ジオ角力では平凡とばかり此程有志相寄り石城相撲協會を設立したが發會式は今月中旬中擧行される、小名濱町在鄉軍人分會主催の忠魂碑除幕式當日富ケ浦公園で華々しく催すこゝなり目下賞品其他準備中であるが吾れと思はん人は奮つて出場土俵上の勇者となり給へと尙發起人は左の諸氏

若松惣吉、太田勝康、佐藤政治、吉田保太郎、菜花清、吉田勝利、小野禮一、齋藤昌秀

新任署長 薄葉氏着任

前矢吹署長より四倉署長に榮轉せる薄葉捨吉氏は昨三日午後二時十三分四倉驛着にて着任したが全町民としては薄葉氏新任署長に對し多大の期待を掛けて居り前任矢吹町民から轉任を惜まれるだけに一般民衆の期待することも無理からぬ事で有る四倉町も明るい氣分で各所の話題となつてをる

四倉署より

神永部長出發

四倉署より飯坂署に榮轉の神永部長は昨日午前七時五十三分の四倉發ガソリンカーで町民多數に見送られて出發。

トラック投身事件は賠償金百六十圓で圓滿解決

高いイタヅラの代償と氣サクい小名濱の人々

小名濱町字西町自動車業長瀨要平氏所有トラックが去る廿七日同町築港內で海中へ沈沒した事件は取調べにより犯人は同町竹町櫻井吉五郎方雇人岩正富治（九）假名の惡戲と判明し長瀨氏より二百五十圓の損害代償請求があり櫻井氏側では百圓にされたしとの申出に繼續中であつたが中島警部補が中に入り兩者歩みより櫻井氏より百六十圓を倍償する事に圓滿解決を見た

四倉新妻町長

港灣協議會出席

四倉町新妻盛氏は先日來より全國港灣協議會を富山縣に開催されたので出張中であるが町當局でも十一年度町稅賦課の町會が目前に迫りたるので近日中歸町する豫定である。

嬉しい話題

母校へ雜巾寄付

酒井（七八）婆さんとノブ子さんの美擧

校長さんニコ〳〵

植田町八幡下酒井キン（七八）朗かに話す事が出來る樣に婆さんは日頃何か爲めに成なつた。

る物を小學校に寄附したいとの念願に、一片の布でも儉約して暇々を見て雜布五百枚を製作此程使用して下さいと校長さんまで綺麗に包裝までして提出寄附した爲め、校長さん始め教員一同感激して大切に使ふ事にした、其に間宮ノブ子（一六）さんは今年無事尋常を卒業したので自分の卒業記念と恩師への寸志として在學中勉强の傍ら雜布百枚を縫上げ、寄附したがノブ子さんは實業學校在學中であり利發な兒であると校長さんは嬉れしげに語つた。

新人軍勝つ

小名濱校內野球

小名濱小學校では、昨三日の職員運動日に際し午後四時より校庭で老練對新人の野球試合を行つたが、二點リードされてゐた新人軍ラストイラングに一擧三點を獲得し五A對四で新人軍に凱歌擧つた。

今度は酒屋に白ネズミ

發覺平署に檢擧

平町研町十番地酒類商白萩

元警視廳の巡査殿飲んで暴れて

平署のブ、ダ、バ、ゴ、ヘ！

湯本町字吹谷居住元警視廳巡査鈴木武夫（四〇）は三日夜同町內の飲食店を片つぱしから呑み倒し剩つさい通行人にまで暴行を働きかけてゐるので、平署の小島、宗像兩巡査が取押ひようとしたら『俺は元警視の巡査をしんだから貴樣等には世話にならぬ』と暴言を浴せ喰つて掛つたので大亂鬪を演じ、ようやく取押へて平署の留置場へブチ込んだ。

養子殺し

殺人罪で正式起訴さる

去月三日午前八時頃（犯行は同五時前後）養子祐（九）を絞殺已れは出刄庖丁を以て咽喉部を刺し自殺を圖つた內郷村大字瀧古物商渡井兼吉妻しん（四九）は高萩警院に收容手當中であつたが其後傷も治癒したため昨三日本支部より殺人罪として正式起訴に決定强制收容された

頭の良い低腦？に踊らされた御兩人

乱鬪の揚句告訴サタ

小名濱町字定西一五九日雇田がテツキリ追掛けられて業熱田留吉（五二）は同町方町來たものと早合點し戶外へ二九、八百屋澤田幾（四一）相出ると同時に驚いてボンヤ手取つて平署に傷害の告訴りしてゐた熊田を物をも言を提起したが、原因は去るはず鐵ケンで歐打し全治三廿八日の小名濱町鎭守祭當週間の打撲傷を負はしたも日熱田方へ遊びに來てゐたのである。

低腦根本德一（五）を送り屆けんと前記澤田方宅前へ通りかつた際、突然德一は澤田方へ飛込み二階迄上つてしまつた爲め、居合せた澤

小名濱町會

小名濱町會 小名濱町

一年度特別稅戶數割賦課決定の件並に上水道敷設の件の二議案を評議する。

赤津氏着任

縣農林技術員赤津平男氏は此程植田町役場詰となり去る二日着任した、前任地は江名町、內郷村。

小名濱校に鼠賊侵入

三圓余を窃取

小名濱町大字小港字殿一番地小野賢司（一八）は去る二日夜同町小學校事務室に忍び入り某教員の三圓余在中のガマロ一個を窃取ウロ〳〵してゐる處を平署員に檢擧され同署で嚴重取調中。

大本教解散余波

石城支部幹事十數名平署に召喚取調らる

再建運動防止の爲か？

大本教解散の今日、信者の影響と再建運動防止の意味で同教石城支部幹事平町中村仁次郎妻あい（五二）外信者十名を今朝（四日）參考訊問として平署に召喚特高課に於て取調中である

煙突をモット高く

健康破壞パチルスの巢

新設煙突を直せ

町民の非難の聲ゴウ〳〵

品川白煙瓦株式會社湯本支工場は軍需インフレの波に乘り舊來のヒビだらけの煙突より廿數尺低い爲めに突一本では需用に感じきれなくなり一昨年コンクリートパイプを積み重さねて新に一本設備を加へ躍進工業を誇つて居るが、舊來の煙突より廿數尺低い爲めに下て居るので、一般町民は如何に工業法による高さであらうとも無煙設備若しくは至るまで害煙がたえまなく室內に浸入し出產間もないモット高くしてくれと切實に吐露する事が出來るではないか。

新任署長 歡迎會

四日午後四時から坂下署長植田署長に榮轉された久和健一氏の歡迎會を料亭みどりに於て官民合同盛大に催された。

赤子の鼻穴をかさぎ呉服屋の如きは白着地を數割値下げせなければ賣れぬ樣に衞生的にも經濟的にも極めて不健康な役割を日日操返して居るので、一般町民は如何に工業法による高さであらうとも無煙設備若しくは至るまで害煙がたえまなく室內に浸入し出產間もないモット高くしてくれと切實

植田局電話架設

植田電話架設工事は、愈四日より工事に着手完成は一週間後の豫定であるが、近日中に全部開通モシ〳〵と生む事だけが画家に與へられた天職であるからだ。

油繪肖像畫の話〔7〕

齋藤利彦

額椽は畫家にとつて最愛の我子に着せる晴着。最も良かれと思ふは親心——良心ある畫家は、最初の第一筆から最後のこの額椽の選定に至るまで、作品本位に愼重に運んで行く、又そうすべきが畫家當然の責任である。立派な完全な繪を生む事だけが画家に與へられた天職であるからだ。

× × ×

以上で油繪肖像画鑑賞の原則だからです。恐らくどの作家もかくて完成された作品についてのみ、全責任を負ふ覺悟があるでせう。

そして又寫生の時位身のはいる場合は無いからです。

第一筆を寫生から描き起したその意氣込みは、當然最後の結果に好影響を與へずには置かない。依頼者が更に作家の作品を大体述べたつもりだが如何に肖像畫とは似るばかりが能いでないからお解しの事と思ふ。次に油繪肖像画は寫眞の通りになる事は我慢しなければなるまい。そして最後に寫生の時間を二三時間與へれば、更も角眞に近くなる。この場合の寫眞は勿論最近のものを必要とするが顏の寸法一寸五分位、修正なしが好都合でせう。

特報

出漁鰹漁船無電放送漁況

本縣船沖合漁況（三日）

船名	漁場	水溫	漁獲物	記事
福田丸	野島沖東南九〇浬	一九度	カツヲ五〇尾	
榮福丸	仝二四〇浬	一九度	ナシ	
他船不感				

沖合一般況漁

最多獲船 最小獲船

海洋丸	三崎入港	二一度	三千尾
宮城丸	仝	一八度六分	二百尾

天氣豫報

今晚 南ノ風曇時々晴
明日 南ノ風 〃
氣壓＝七百五十四粍五

街の噂

中ノ作港に屏風のようにそびえ立つ後山に、大蛇三頭（三匹より三頭と云ふ方が感じが出る）が姿を現し壯者を走らしたと云ふ話、去る六月二日中ノ作某組合の事務員がピクニックと云ふ譯でもあるまいが裏山に登り、あの絕壁の足跡稀れな高臺に佇み心のミイル迄海洋を眺望し、計らず側面を見れば大蛇三頭が光々人を射る目を光らし舌を出す樣子見て失心せんばかりに驚き無中で事務所に逃げ歸り同僚に話したが元來中ノ作には昔より大蛇の居ると云ふ事は聞いてゐたがしかも三頭と云ふ事だから常識的に考へ時に三頭は三頭でも果して大蛇であるか少しも大きな青大將であるかは遭遇者は氣の小さな男だのこゝだから大蛇ととしての保證の限りでなく、一笑に付して向もあるようだ。

濱だより

六月三日 小名濱魚市場調査

魚名	漁獲高	單價
中目	一五貫	二、一〇—二、二〇
タイ	六〇貫	三、一〇—四、三〇
小タイ	一〇貫	三、一〇
スズキ	一〇貫	二、一〇—二、三〇
アラ	三〇貫	一、六〇
アイナ	四〇貫	一、一〇
サバ	四五貫	三、六〇
タラ	三〇〇貫	、三五
ノド	一五〇貫	、六〇
グロ	三〇貫	、三〇— 、四〇
タコ	三〇貫	

開店御披露
毎度御引立を蒙つて居ります
平町 末廣の支店を開設いたしました
所は……公園の閑雅な高臺
味は……江戶一流料理人の腕の冴え
皆樣の御出でをお待して居ります
小名濱公園地內
江戶前 鳥料理 はまや
モシモシ 電話百二十番

何とも言ひない良い味を見せる
末廣の魅力
洗練された女給さんのサービス

溫泉復活事業と町紛爭の實体

（十一）

小野英哲

復湯事業を取卷いて分派發生し、益々怪物扱へにしてしまつた動因は、先きに述べた如く、比佐後援會の分身的存在であつた愛湯會さを想ひ肌寒きものがあるが、内部的に對立抗爭の發生をみた事によるのである。

所謂總選擧に當面して、某派に應援した一部の幹部の、其の變節的行動が、其の眞意の何處に存するを問はず、片や比佐、片や某派と云ふ如く分裂した結果が復湯事業の本質を論せず、政黨根生を基礎とした感情が理窟抜きに、アツレキを生じて一般町民をして生殺の石川町長の運命に暗影を投し的氣分にしてしまつたのである。

比佐昌平氏妹テル子女史を、世上デマに惑はされてとや角の批評をしてをるが役場當局の第一回の聲明書に、比佐昌平氏兄弟は復湯工事に反對であります、と書いてある事によつて、無理にもテル子女史を探く介入せしめてしまつたのである、

テル子女史も、妾は決して湯本自治体の事業に差出がましいことはしたく無いのですが、兄さん並に妾をとや角語り、無理にも口をきかす樣にしたのですと、自分の立場を明かにしてをるのである。

この點第一回も第二回の聲明書も結果に於いて無益なものであり極めて有害なシロモノに終つたのである

併しテル子女史が、自分の立場を、比佐昌平氏の政治家的地位と同じものと考へ、强く横車を押し出した其の行爲は、理屈抜きに惡もちならぬ自已錯覺行爲であり、斷じて擧めた藝當で有り得ない。と一部町民は云ふてをるのである。

又秋原義雄氏が大井川正巳氏に何モノか材料を提供し、石川町長を陷し入れるべく或る種の策動をモノしたことは、政治家として賞讃に隱れたる背臣であつたと謂れるのである。

極めて善良であり又幾多數へるべき治績を殘し任期滿ちんとする時期に到つて微々たる復湯事業手續の手違へから一部の町民から非難攻擊の的となり、ツルシ切的處置を受けねばならん事は、他面情に於いてしのび得ない事實だと、心ある町民から同情されてをるのである。

又鯨岡久一郎氏の如く眞銅に私人なく、區政に盡力してる人物もあるのであるから、大井川正巳氏の如くずつと若く見えた。

併し重夫は（なあに有閑手な女だけに、年齢よりは

ケ月程經つた或る日、田村の妻道惠が重夫の家を訪ねた。そして何時までも不良の仲間なぞに入つて居ては自分の身が狹くなつて行くのだつた。

重夫の心には、次第に幾年か忘れられて居た、優しい心根が芽生えて來た、今までに會て味つた事のない日限り、もう不良の仲間かはしさが、日一日と增して見して呉れた。――三十を彼に、懇々として優しく意行くのだつた――重夫の素二つ三つ越して居る道惠は行を知つてゐる者達は、余子の無いためと、小柄で派手な女だけに、年齢よりは休みの日の天氣のいゝ時

休みの日の天氣のいゝ時

など好く二人は連れ立つて

ある慈愛であつた。日曜には道惠が重夫の家へ訪ね、色々な世間話しの末に、彼の不良性を暗々裡に矯正して行くのだつた。

りもない赤の他人の

りにも生れ替つた彼の今日

りにも驚異の眼を瞠る者さへあつた。

マダムの氣まぐれ意見だう）位ひに思つて、てんで相手にせず、でも表面だけは殊勝に優しくして、一々うなづいて聞くのだつた。

氣まぐれ意見と嘲笑した道惠は、それからは毎日一度は必らず夫の會社へ來て不在勝ちな夫の代理をする傍ら、從業員のために何呉れとなくまめ〳〵しく世話をするやうになつた。何のために道惠が、急に會社へ足繁く來るようになつたか勿論他の從業員達は判らなかつた、中には色々なうわさをし合ふ者もあつたが――結局眞相は掴み得なかつた。

重夫に對する道惠の心盡しは、他の誰よりも勝つて居た。それは姉が弟に對す

山遊びに行つた。好色で猜疑心の强い夫のために、惱み續ける道惠が、重夫と二人きりでゐる時は、子供のように無邪氣に笑つたり唄つたりした。

中篇小說　第二の抱擁（2）

横山しの夫

過去

重夫が田村の會社へ勤める樣になつたのは昨年の秋だつた。街の興太者仲間で鳴らして居た彼を、田村は何ういふ譯で自分から進んで採用したのか重夫には未だに疑問だつた。田村の會社へ入つてからも彼の素行は依然として治まらなかつた。彼の体には生藥が絶えなかつた、彼が入社して一

原稿募集

俳句、短歌、童謠
詩、コント、隨筆
小說、紀行文

右の原稿を募集します
題は隨意ですが創作に限り飜譯は採りません
但し紙上匿名は自由なれ共原稿の終りに住所氏名を明記すること、無名原稿は掲載致しません
種類を冠頭に朱記する事

選者　編輯局選

日本國民たるの信念に生よ

「我は日本人也」の自覺を持て

何故同胞が喧嘩をするのか、昨日迄仲良く暮してをつたものがメーデーになると何となく鹿爪らしくなる。前日まで和やかに暮した方がいゝ、何云ふので檢束をする。そんな事をして一日を暮すのでは一生五十年か、六十年である、一日でも愉快な顏をして送るのが人生の幸福である。

日本國民たるの信念に生よ

日本の踊りがあるとして二コ〳〵してをつた者達ちやないでせうか、如何に面白い女が高い靴を穿いて跳ねも生れてから死ぬまでブリ〳〵怒つて不愉快な日を過すよりは寧ろ金がない方がいゝ、借金を持つてをつてもそれと織り合せて日本で一つ

ツバのダンスが良ければそのダンスを案出した方がいゝ

易い例としてメーデーをもやないかと思ふ。判らんと思ふ。何でもヨーロッつて來たのでありますがアメリカで流行してゐるから日ヨーロッパで流行してゐるから日本もやらなければならぬと

ンスにしてもそうである。云ふ事はないのであります

ばならんと云ふ事はない。

日本には日本の踊りがある

日本精神に依り流行物を捨て

日本流に進まねばならんと思ふ。

（未完）

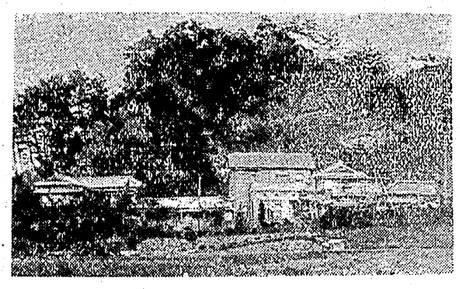
眼科一般
小名濱眼科醫院
小名濱町

歯科一般口腔外科
木田歯科醫院
小名濱町電話一〇五番

評判のお多福へ
散歩歸りには移轉擴張した酒場お多福のしんみりしたお座敷へ是非!!!
新味特製の折詰　すし　ちらし　みつ豆
季節向き江戸前御料理仕出し
『出前迅速』安くておいしい
江戸前御料理　酒場　女中入用　お多福
小名濱町吉田屋別館通り

合理化せる文化的……セメント瓦製造販賣……
高木惣治
小名濱町西町

内科、小兒科、婦人科、花病科
久保田醫院
小名濱町
電話二二番



明朗小瀧へ!!!
◎宿泊　1.50　2.00　2.50
（御滯在は上記料金にて中食料を含ませます）
◎日歸浴席料　20
◎自炊料　50―80（入場料室料夜具料一切）
◎料理一定食　80　1.00　1.50
（其の他一品料理一洋食）
◎効　神經痛●リウマチス●胃腸病●痔疾　婦人病●逆上●中風●脂肪病
（内務省東京衛生試驗所檢定）
◎諸設備　どうきゆう臺●高級ラヂオ●大廣間　讀書室●近代的浴場と洗面所●水洗式便所器具小動物園●御子樣運動
◎名物　川魚料理（うなぎ●鯉）蜂蜜羊羹　いちご羊羹
磐城湯本驛下車●小瀧礦泉電話（小名濱）103番
御旅館　御自炊館　瀧の湯

藥……衛生材料
寶屋藥舗
小名濱町古港
電話三十九番

大正火災保險株式會社
三井生命保險株式會社　代理店
鑛油部　魚市場
磐城水産工業株式會社
小名濱町築港内
電話一四四番

祝弔
造花を御求めになる時は是非技術有る新らしき品を御買求め願ひます
造花問屋　光堂
平四丁目局通り　電話五五〇番
造花博士　花信

御旅館　御料理
吉田屋本館別館
小名濱町
電話十四番

◆建築又は用材の御下命は當店へ御報參上御見積り可申候◆
各國銘木　材木製板　建築用材　建築請負
秋山製材所
植田町　電話六二番

漆器と家具は
平町一丁目
和久井屋
電話四〇五番

親切　KS　第一
船舶用電氣　各種發電機　各種蓄電池　捲替修理　電機器具　各種電球　販賣
磐城小名濱町
スマヤ電氣部
ケーエス商會
店主　小濱敬太郎
電話一五九番

銘酒『玉の井』
長瀨彰義釀造
石城郡玉川村

晴雨に拘らず期日嚴守
クリーニング
森西洋洗濯店
平新川町二十九番地

口腔外科歯科一般
池部歯科醫院
江名町

磐城セメント特約代理店
良品廉賣に勝る商略なし
久
釜屋商店
磐城平町五丁目
電話九番　九九番
東京振替貯金口座一〇九五六

募集
大津支局長　一名
小名濱詰記者　二名
右至急採用す（本人來談のこと）
日刊　常磐新聞社

材料も庖丁も不遜の自慢
雅味、尊重の名食器
御家族連に御小宴に是非
新味　割烹　御酒の家　大盃
小名濱町上横町
試食としての御定食
洋食　御酒付　六十錢

外科　内科　花柳病科　レントゲン科
入院隨意
小名濱町中島
草野醫院
電話一七三番

きゝめでられる　りん病藥
販賣元　小名濱中島通り　電33番
妙淋丹　十日分　三圓
シライシヤクホ

廣告の御用命は廣範圍に配布する常磐新聞へ

撞球　ビリヤード
金波